



醸芳っ子通信

桑折町立醸芳小学校だより
令和7年9月11日 No.8
文責 校長 花輪 忠康

【教育目標】よく考えて学ぶ子ども(知) 親切で思いやりのある子ども(徳) 健康で明るい子ども(体)
合言葉「こつこつ とことん あきらめない」(継続・徹底・根気)

第2回避難訓練・引き渡し訓練

9月5日(金)、第2回避難訓練と引き渡し訓練を行いました。避難訓練では、地震が発生し、下校の道路が危険であるという想定で、体育館に避難をしました。避難の際に大事なことは、「お(おさない)・か(かけない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)」です。子どもたちは、担任の先生に引率されながら避難をすることができました。

また、引き渡し訓練では、万が一の事態に備え、家庭の人と一緒に帰る訓練を行いました。最近、地震・雷・大雨などの自然災害ばかりでなく、不審者対応、熊・猿などの出没などの事案も起こっています。「自分の命は自分で守る」ことを忘れず、安全・安心に学校生活を送れるようにしたいです。ご家庭の皆様、ご理解・ご協力ありがとうございました。



P T A奉仕作業ありがとうございました！



8月30日(土)、PTAによる奉仕作業(除草作業)がありました。保護者の皆様、そして子どもたちも、先生方とともに、校庭や学年の花壇・菜園の除草を行いました。皆様のご協力の下、校庭も花壇もきれいになりました。除草された草は、コンテナいっぱいになりました。

翌々日は、花いっぱいコンクールの現地審査を迎えました。見違えるほどの環境に、自信をもって審査にのぞむことができました。暑い中、早朝よりのご協力ありがとうございました。

平和学習派遣事業報告会

9月1日(月)、町役場で平和学習派遣事業の報告会がありました。引率者の藤島さんと睦合小の高橋先生が説明をした後、5名の各校代表児童が研修の報告をしました。

本校6年の山木渉さんは、原爆が戦争を終わらせたという肯定派に違和感を話し、桑折町の14倍の方々の命が奪われたことへのやるせなさ、原爆の悲惨さを訴え、人類が平等であることの大切さを述べました。伊藤悠真さんは、広島平和祈念資料館の見学や被爆体験者の話から、多くの人々の命を奪った原爆の恐ろしさを実感し、戦争のない世界や平和の尊さを友達に伝えていきたいと話しました。

報告してくださった児童の皆さん、引率の藤島さん、高橋先生、ありがとうございました。



親和的な学級づくりのために「Q－U講座」



8月27日（水）、奥羽大学の佐藤歩先生をお招きし、親和的なまとまりのある学級づくりについて研修を行いました。桑折町では、児童生徒の心理や行動面の理解を図り、学級集団の状態を的確に把握するため、「Q－U検査」（学校生活の満足度の質問紙）を実施しています。先生方は、自分のクラスの検査結果を分析し、安全・安心な学習集団づくりに向けて手立てやアイデアを教わりました。親和的な学級づくりに向けて、先生方も学習会をしています。

成長にともなう体の変化（4年）

9月2日（火）、4年生は保健体育で「体の成長の変化」について学習しました。体は、年齢に伴って変化すること、男女によって異なること、体の発達には個人差があることを学習しました。養護教諭から、思春期になると大人の体に近づくこと、異性への関心が芽生えることも聞きました。また、プライベートにかかわる話、いじめにつながる行いはしないことも指導しました。自分の体と他の人とは発育や発達に違いもあります。自分の体の変化を肯定的に受け止めることが大切です。



花いっぱいコンクール現地審査



9月1日（月）、県北農林事務所の高木様が来校され、花いっぱいコンクールの現地審査を行いました。一昨日に行われたPTA奉仕作業のご協力のもと、飼育栽培委員会の子もたちを中心に、どのクラスも水やりや除草を行ってきたおかげで花壇はとても美しく整理されていました。審査員の高木さんからは、「草花への水やり大変でしたね」「子どもも保護者も一緒に環境美化に取り組んでいて素晴らしいです」とお褒めの言葉をいただきました。審査ありがとうございました。

第2回桑折学習塾

9月6日（土）は、第2回桑折学習塾でした。教育委員会の遠藤先生、須賀先生、村上先生、新藤先生からご指導をいただきました。今回は「国語」を中心とした学習。「早口言葉」「おもしろクイズ」「お話作り」「プリント学習」「自主学習」です。みんな一生懸命、勉強しました。



日本文化クラブ茶道体験

日本文化クラブは、裏千家の安細朋子（宗朋）先生から茶道を学びました。座礼などの作法を学んだ後は、実際に、茶室に見立てた和室で実演をしました。和菓子をいただきながら、おうすをいただきました。軸や一輪挿しを見ながら心静かに茶道を楽しむことができました。

